授業実践前サポート研修①

アクティブ・ラーニングの視点からの指導案分析①

平成28年10月19日

静岡県総合教育センター総合支援課

アクティブ・ラーニングの視点からの 指導案分析①の過程

- 0 演習の過程の説明
- 1 アクティブ・ラーニング体験

2 振り返り

(授業設計診断ワークシート①による)

1 アクティブ・ラーニング体験(40分)

学習者の視点に立って、アクティブ・ラーニングを体験する。 大研修室(公民)と研修室 1 (理科) に分かれて行う。

2 振り返り(20分)

1の体験をもとに「主体的な学び、対話的な学び、 深い学び」が起きやすくするための工夫について考察する。 「授業設計診断ワークシート①」を使用。全体で実施。

1 アクティブ・ラーニング体験

アクティブ・ラーニング体験

全員に対する「学習課題(問い)」を提示して

エキスパート活動

それぞれのグループで異なる資料 を読み合う。グループの課題に取 り組み、他グループへの説明準備。

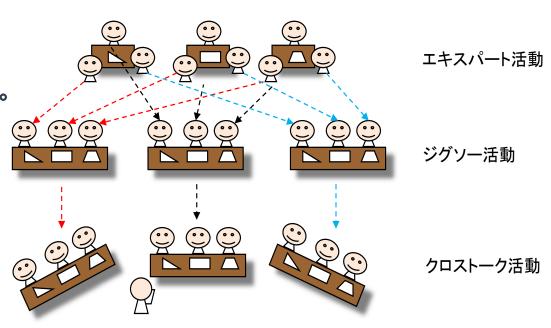
ジグソー活動

それぞれのグループから1人ずつ 集まり、新しいグループを作る。それぞれの資料の理解を持ち寄り、 検討し、答えを出す。

クロストーク

グループごと発表。各グループの 根拠を互いに検討しながら、自分 なりの納得をする。

生徒の全員が発言者



出典: 大学発教育支援コンソーシアム推進機構

【公民編】

公民科「現代社会」 1 年生 単元名

現代の民主政治システムにおける政治参加の意義

単元目標

民主政治の下では、国家の行為に対して最終的には 国民自らが責任を持つことを理解する。民主政治は国 民の多様な意見を基礎に運用されていることを踏まえ、 社会の諸課題について複数の資料等を読み、多面的・ 多角的に考察する。この単元では地方自治に主眼を置 き、地域社会の課題を解決する方策として「社会・生活 インフラ企業『コンビニ』を起点としたまちづくり案」を提案さ せ、誰もが幸せになれる社会の実現へと主体的に行動 する態度を育成する。

本時の目標

答えが一つでない問いに対して、複数の資料をもとにした多様な考えを対話によって比較・統合し、他者の考えに触発されることで自己の考えが変容したり、自己の主張の論拠が強くなったりすることを経験しながら、自己の主張を論理的に表現することができるようになる。(思考・判断・表現)

本時の学びにより、「社会・生活インフラ企業『コンビニ』を起点としたまちづくりを提案しよう」という次時の学習課題に関して、自分なりのプランを思いつき、仲間と話し合いたくなる。(関心・意欲・態度)

ジグソー課題

消費期限間近のコンビニの食品を使って、 その日の食べ物に困っている子どもたちに 与えるシステムを考えることに賛成か、 反対か?

【理科編】

本時の目標

複数の資料をもとにした科学的なデータを対話によって比較・統合し、他者の考えや情報に触発されて自己の考えが変容したり、自己の主張の論拠が強くなったりすることを経験しながら、川の砂の違いに関する自己の主張を論理的に表現できる。(思考・判断・表現)

3つの河川の砂に興味を持って、科学的に探究することができる。自分が生活している場所の地質や成因等に興味や疑問を持つ。 (関心・意欲・態度)

岩石に関する既習事項を活用することにより、火成岩について理解を深める。 (知識・理解)

ジグソー課題

サンプルA、B、C の 3 つの砂は、 それぞれ天竜川・大井川・狩野川 のうちのどれに相当するか?

【学習の過程】

- 1. 学習前のあなたの考えを記述する。(3分)
- 2. エキスパート活動(5分)

資料ABC、それぞれのエキスパート課題に 取り組む。

3. ジグソー活動 (10分)

ABCの考えを比較・統合し、 ジグソー課題に取り組む。

4. 発表による共有(6分)

グループとして意思決定し、根拠を説明する。

5. 振り返り(5分)

グループでの対話と思考を踏まえ、 学習後の問いに対する自分の考えを記述する。

グランドルール

- ○他者の考えに耳を傾け、他者の考えに自分が触発 されていく感覚を楽しみましょう。
- ○できるだけ質問して、話し合いを深めていきましょう。
- ○一人が長く話しすぎないよう、心がけましょう。

2 振り返り

(授業設計診断ワークシート①による)

授業設計診断ワークシート①

授業設計診断を利用した授業分析

体験した学習は、「深い学び・対話的な学び・主体的な学び」が起こりやすくなるためにどのような工夫がされているか。

科目名 本時の目標 解決したい部	根題や問い					
	学習の成	 果	解決したい課題や問い			
		*	2 (1)			
	対話と思	考 September 1971 And September	The state of the s	考えるため	かの材料	

振り返り(20分)

体験した学習は、学習者の「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」を起きやすくするためにどのような工夫がされているのか。

- ①個人で考えて、記入してください。 (10分)
- ②グループで共有し合ってください。 (10分)